

自分の体に関心をもち、 自ら健康な生活ができる児童の育成

～歯と口の健康づくりを通して～

大阪府貝塚市立東山小学校13学級 432名

研究目標

歯・口の健康づくりに関する学習を通して、自らの健康課題を見つけ、それをよりよく解決する方法を工夫・実践し、評価して、自分の健康の保持・増進に努めようとする児童を育成する。

実施内容

【歯と口についてのアンケートの実施】

今回の事業を始めるにあたって、本校の子どもたちの歯や食についての傾向を知るために、全校児童にアンケートを実施した。

《主な項目》

歯みがきの習慣や方法、おやつを食べる、食事のときに気をつけていること 等

これらのアンケートから課題や傾向を教職員で話し合い、今後の活動を進めていく上でポイントとなるなどを出し合い活動をスタートさせた。

【歯みがき指導の実施】

歯科衛生士学校の学生が来て下さり、1・3・5年生対象に歯みがき指導を実施した。

各学年の発達段階に応じた歯についてのお話と、染めだしによるブラッシング指導を行った。また、



事前にお知らせを出し、多くの保護者の参観もあり、歯みがきの大切さについて発信するいい機会になった。

歯と口の健康づくりへ

【児童保健委員会の活動】

★はみがきカレンダーの作成★

夏休みに、はみがきカレンダーを作成し、全校児童に配布した。裏面には『歯みがき方法』の絵を載せ、気をつけながら毎日歯みがきできるように工夫をした。

★歯についての放送や劇★

6月の歯と口の健康週間に合わせて、歯についてのクイズを作成し、給食時間に放送をした。また、歯科健康診断後の受診を促す内容の劇を子どもたちが考え、全校集会で発表した。



★給食委員会とのコラボ★

「いい歯の日」に合わせて、給食委員会から『かむことの大切さ』についての発表があり、しっかり噛むことは歯の健康を守ることにもつながることを伝えた。



【学校保健委員会の開催】

5月の歯科健康診断終了後、全職員と学校医、PTAなどの保護者が参加した学校保健委員会を開催した。学校歯科医から『歯と口の健康づくり』について講演をしていただき、歯についての知識を深める機会となった。

【栄養教諭との連携】

児童に実施したアンケートの結果から栄養教諭による『おやつの食べ方』や『かむことの大切さ』についての栄養指導を行った。

栄養指導を行うことにより、歯についての健康を、食事やかむことなどの観点から考えさせた。